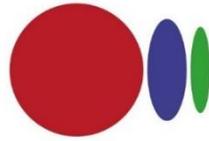
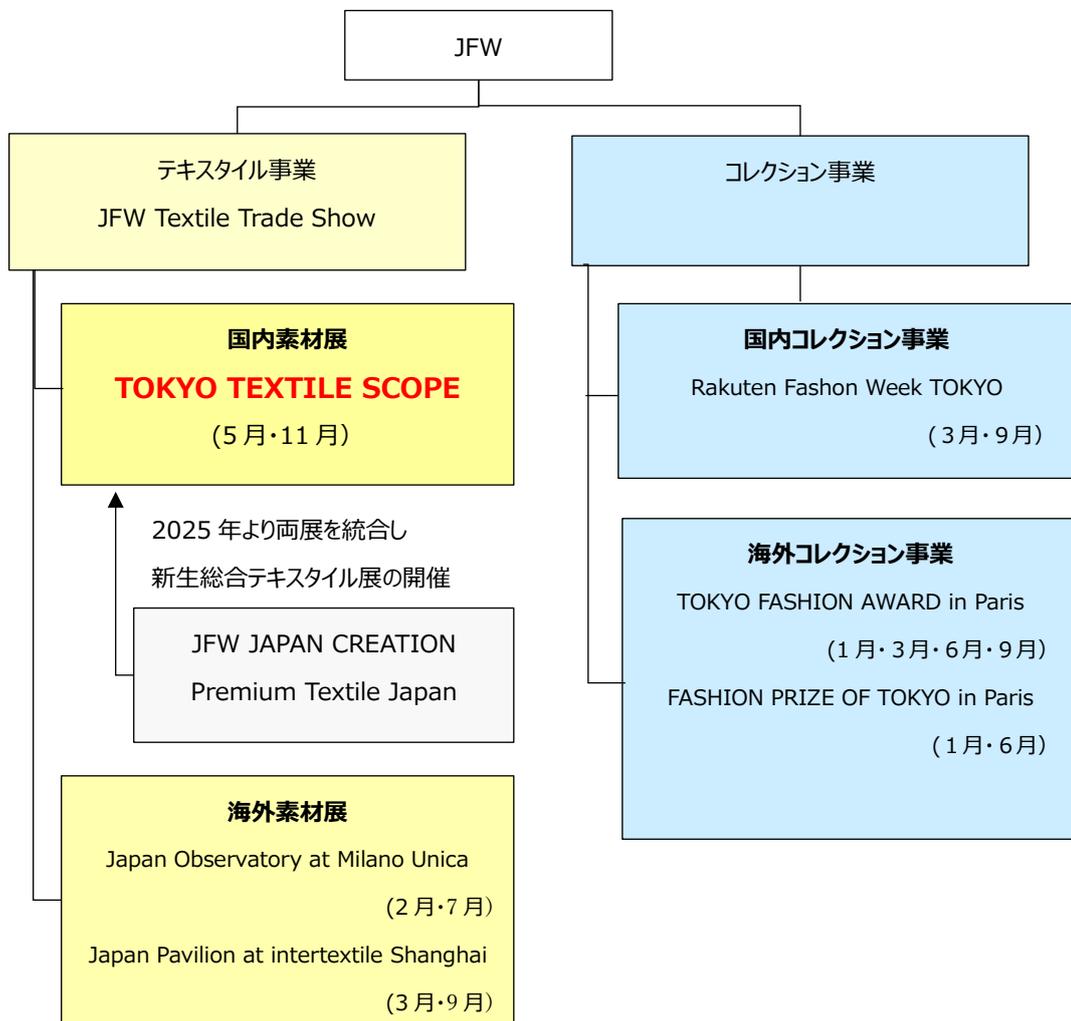


「JFW 新生総合テキスタイル展 2025年からスタート！」



# TOKYO TEXTILE SCOPE

JFW 事業・テキスタイル事業の構成



現在、JFW テキスタイル事業の国内素材展では、JFW ジャパン・クリエーションとプレミアム・テキスタイル・ジャパンを主催し、海外素材展では、ミラノウニカでのジャパン・オブザーバトリー、インターテキスタイル上海でのジャパン・パビリオンを組織して展開しています。

このうち、国内の両展示会を 2025 年から統合し、グローバルなファッション・テキスタイル市場のニーズに応える総合テキスタイル展「TOKYO TEXTILE SCOPE」(略称 TTS) をスタートすることとしました。

すでにジャパン・クリエーションとプレミアム・テキスタイル・ジャパンの事業位置づけの境い目がなくなり、集約することでSS展、AW展の発信力を高めることが狙いです。このため、年1回開催のジャパン・クリエーションにのみ参加していた企業・団体も、5月のTTS展への出展が可能となります。

### 「TOKYO TEXTILE SCOPE」のコンセプト（目的）

- 未来志向のテキスタイルを展望する価値観と目標を共有した「創」（デザイナー）、「匠」（製造事業者）、「商」（アパレル・小売）の素材と人が集い、交わる起点を目指します。
- 業種、世代、産地、あらゆる垣根を超えた交流、情報交換の場として、また、「産産連携」、「産学連携」による新たなビジネスチャンスを創出する場として、そして日本のものづくりのクオリティと価値を世界に発信する場として、繊維・ファッション業界全体の発展を図ります。

「TOKYO TEXTILE SCOPE」のネーミングとロゴ：東京から世界に向けて日本のテキスタイルを発信していく上記TTSコンセプトの躍動感を表現。

### 2025年「TOKYO TEXTILE SCOPE」開催概要

会場：東京都立産業貿易センター 浜松町館

会期：2026SS展 2025年5月14日(水)-16日(金)（会期3日間）

2026AW展 2025年11月12日(水)-14日(金)（会期3日間）

- 来場者便宜を考慮し、従来の開催2日間を3日間に拡げることで、会期中できるだけ多くの人の来場機会を増やします。
- 同会場は大会議室等も併設しており、特設商談ルームや主催者・出展者セミナーなどに活用し、ビジネス環境を整えることも可能です。
- 出展募集開始は、11月初旬の予定です。

### 「TOKYO TEXTILE SCOPE」の主な構成プラン

- 出展企業素材で構成・発信するバイヤー必見の「JFW シーズントレンド」、及び出展企業のイチ押し素材が把握できる「インデックス」コーナー。
- 「What's Next Textile」：次の売れ筋素材を探る人気素材投票。
- 「What's Next Sustainable」/「What's Next Seminar」：新たなサステナブルの取り組みや旬なトピックスのセミナー。
- 「What's Next Scope」：新商品開発や繊維・ファッション分野で新規事業開拓に取り組むスタートアップ企業・団体などのトピックスを紹介。
- 日本の繊維産地や染色・後加工を取り上げる「産地フォーカス」企画：日本のものづくりの強みと魅力を世界に啓発する「産産連携」事業。
- JFW コレクション事業との連携を強化したビジネスマッチング。
- 「産学連携」事業：次世代の繊維・ファッションを担う人材育成の促進。
- 出合い、発見、交流、新たな創造が始まる「出展者ブース」

「TOKYO TEXTILE SCOPE」の開催に向けた古茂田 JFW 事務局長によるコメント

「さらなる日本のテキスタイルの価値向上と未来に向けた新たな発信の場としての第一歩。

サプライヤーとバイヤーが、ここに来てワクワクした発見やいろんな情報収集、意見交換をしながら、いきいきとしたものづくりに取り組めるような場としたい。

また、ファッション・テキスタイルを学ぶ学生が、ここ TOKYO TEXTILE SCOPE で繊維・ファッション業界の最前線に触れて、学び、夢を持って、この業界の一翼を担うフレッシュなパワーとなるきっかけにできれば幸いです。

ファッションは楽しいもの。これからどんどんブラッシュアップして、その思いがあふれる時間と空間を目指します。」